

2010年10月5日(火) 19時開演(18時開場)

サントリーホール 主催：公益財団法人 サントリー芸術財団

協賛：サントリーホールディングス株式会社

助成：芸術文化振興基金  制作協力：東京コンサーツ

サントリー芸術財団コンサート  
「作曲家の個展」第30回記念特別演奏会

望月 京

インストラ・オヤ (2007年委嘱作品)

北爪 道夫

管弦楽のための協奏曲 (2003年委嘱作品)

近藤 譲

オーケストラのための〈夏に〉 (2004年委嘱作品)

松平 頼則

ピアノ協奏曲第3番 (2001) [初演]

※18:20～ プレ・コンサートトーク

出演：野平一郎 聞き手：白石美雪

指揮：梅田俊明

ピアノ：野平一郎

管弦楽：東京都交響楽団

SUNTORY FOUNDATION for ARTS' Concert  
Celebrating the 30th "A Profile of a Composer"  
19:00 Tuesday, October 5, 2010 Suntory Hall

• Misato Mochizuki: Insula Oya  
(2007, commissioned by Suntory Music Foundation)

• Michio Kitazume: Concerto for Orchestra  
(2003, commissioned by Suntory Music Foundation)

• Jo Kondo: In Summer, for Orchestra  
(2004, commissioned by Suntory Music Foundation)

• Yoritsune Matsudaira: Piano Concerto No.3 (2001) [Premiere]

• 18:20～ Pre-concert talk: Ichiro Nodaira  
Interviewer: Miyuki Shiraishi

• Toshiaki Umeda Ichiro Nodaira  
Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

【入場料】S席=4,000円/A席=3,000円/B席=2,000円(全指定席/税込)

【お問い合わせ・予約】東京コンサーツ TEL.03-3226-9755 FAX.03-3226-9882  
<http://www.tokyo-concerts.co.jp>

【チケット取扱】サントリーホール・チケットセンター TEL.03-3584-9999

チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード: 109-444]/ローソンチケット TEL.0570-000-407

e+(イープラス) eplus.jp/東京文化会館チケットサービス TEL.03-5685-0650



# 「作曲家の個展」第30回記念特別演奏会

サントリー芸術財団コンサート

## ■作曲家の個展について

サントリー芸術財団では、サントリー音楽賞の贈呈とその記念公演の開催に加え、「邦人作品の振興」を基本理念に、芥川作曲賞の贈呈、国際作曲委嘱、日本人作曲家の作品リストの出版、日本人作品の演奏コンサートの推薦などの諸事業を行っています。「作曲家の個展」シリーズもその一環であり、毎年わが国のすぐれた作曲家1名を選び、その代表作をまとめて紹介するコンサートで、これまでに計28人の作曲家の代表作や新作を演奏し好評を博してきました。第30回を迎える本年は特別演奏会として、2000年以降にシリーズで委嘱初演された曲の中から、北爪道夫(第23回)、近藤譲(第24回)、望月京(第27回)各氏の作品を演奏いたします。あわせて、第1回テーマ作曲家 松平頼則氏(1907-2001)が野平一郎氏に託した遺作ピアノ協奏曲を野平氏の独奏、梅田俊明氏の指揮、東京都交響楽団の演奏で初演いたします。



Misato Mochizuki

**望月 京** (1969-) 東京生まれ。東京藝術大学大学院修了後、バリ国立高等音楽院作曲科、同科第3課程(博士課程)、同アナリーゼ科修了。96~97年 IRCAM 研究員。北村昭、尾高惇忠、間宮芳生、ポール・メファノ、エマニュエル・ヌネス、トリスタン・ミュライユの各氏に師事。日本音楽コンクール作曲部門第1位及び安田賞、ダルムシュタット・シュティペンディエン賞、芥川作曲賞、アルス・ムジカ音楽祭聴衆賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、出光音楽賞、尾高賞、ユネスコ国際作曲家会議グランプリ、ハイデルベルク女性作曲賞などを受賞。繊細さとダイナミズム、多彩な音色やバランス感覚に優れたユニークな作風が注目を集め、ザルツブルク音楽祭、ウィーン・モデルン音楽祭、ベルリン・ムジークビエンナーレ、ヴェネツィア・ビエンナーレ、サイトウ・キネン・フェスティバルなど、主要音楽祭等で作品が演奏されている。国際プロジェクトとなったオペラ『バン屋大襲撃』(原作:村上春樹)は2009年1月ルツェルンで初演、同年ウィーン、2010年3月東京・大阪で再演された。明治学院大学准教授。



Michio Kitazume

**北爪道夫** (1948-) 東京生まれ。東京藝術大学卒業及び同大学院修了。作曲を池内友次郎、矢代秋雄、松村禎三、指揮を斉藤秀雄、高階正光、ピアノを坪田昭三の諸氏に師事。77年アンサンブル・ヴァン・ドリアン結成に参画、作曲・企画・指揮を担当。内外の現代作品紹介に努め、83年同団体として第1回中島健蔵音楽賞を受賞。79年、文化庁派遣芸術家として渡仏。94年「映照」で尾高賞受賞。同作品は95年ユネスコ国際作曲家審議会最優秀作品に選出される。2001年「地の風景」で尾高賞受賞。05年「管弦楽のための協奏曲」など長年にわたる作曲活動に対し、第22回中島健蔵音楽賞受賞。その他、「悠遠一鳥によせて」など2曲の国立劇場委嘱を含む邦楽器のための作品群、様々な楽器や声のための作曲活動は多岐にわたっている。CDに「北爪道夫オーケストラ作品集」(FOCD2514)、「北爪道夫・作曲家の個展」(FOCD3505)他。国立音楽大学大学院教授、愛知県立芸術大学名誉教授。



Jo Kondo

**近藤 譲** (1947-) 東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。1980年、現代音楽アンサンブル「ムジカ・ブラクティカ」を結成、91年の解散まで、音楽監督を務めた。独奏曲から管弦楽、オペラ、電子音楽作品まで広範にわたる作品を130曲以上作曲、日本、欧米において演奏されている他、フォンテック、ドイツ・グラモフォン等から多くの作品の録音がリリースされている。また、「アルメイダ国際音楽祭」、「フィレンツェの5月」を始め多くの国際音楽祭において特集が生まれ、アイプス・アンサンブルやNieuw アンサンブル、ロンドン・シンフォニエッタなどヨーロッパの優れた演奏家たちも好んで作品を演奏している。また、『線の音楽』、『音楽の種子』、『耳の思考』、『〈音楽〉という謎』、『音を投げるー作曲思想の射程』、新版『〈音楽家の耳〉トレーニング』等、作曲と美学に関する著作を出版、著作活動も活発に行う。2005年ハダースフィールド現代音楽祭のテーマ作曲家の1人として作品が特集された。CDに「近藤譲作品集〈オリエント・オリエンテーション〉」(ALM-ALCD67)、「近藤譲作品集:夏に」(ALM-ALCD-74)他がある。お茶の水女子大学教授、副学長兼附属図書館長、学術・情報機構長。



Yoritsune Matsudaira

**松平頼則** (1907-2001) 宮内省狩猟官を務めた松平頼孝(よりなり)子爵の長男として東京小石川に生まれる。慶應義塾大学在学中の1925年、仏のピアニスト:ジル＝マルシェックスの演奏会を聴き音楽を志す。1930年、在野のモダンニストの集まりであった新興作曲家連盟設立に参画。雅楽との出会いを契機に、これと西欧の音楽語法との融合を生涯のテーマとする。1940年代には新古典主義へと傾斜。1951年、「ピアノと管弦楽のための主題と変奏」にて、初めて12音技法を導入。以後、総音列技法、管理された偶然性など、戦後前衛音楽の最先端を行く手法を雅楽的視点より消化した、独自の作風を確立する。国際現代音楽協会(ISCM)の作品公募に15回入選。イタリア国際作曲コンクール(1962)、ペトラッシ国際作曲コンクール(1993)にて優勝。作品は伊・ツェルボーニ社、仏・デュラン社などより出版されるなど、国際的評価が高く、その影響はブルーゼの「リチュエル」にも見受けられる。(石塚潤一)